

3 自然再生計画イメージ図

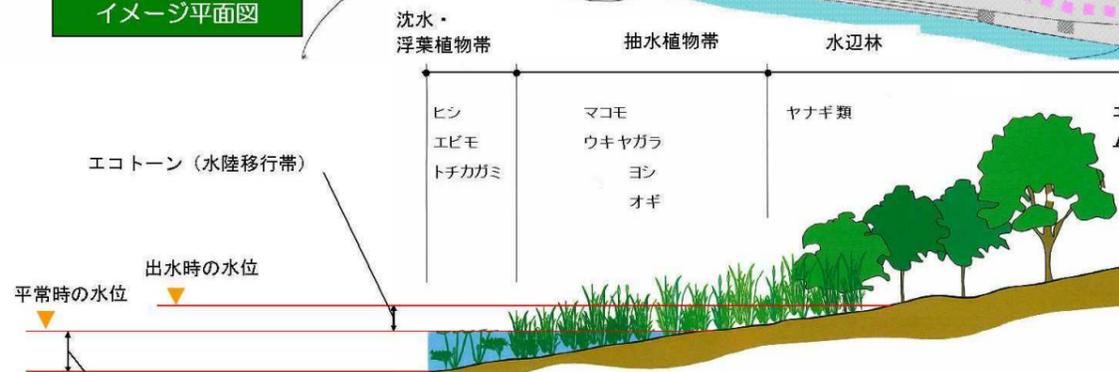
※10～20年後の将来イメージ図であり、整備直後の姿ではありません。
 なお、河川法の制限を受けるものについては、変更する場合があります。



4 再生湿地の生育・生息 目標種

- 魚類
 - ・フナ、メダカ、ドジョウが普通にみられる湿地の創出
 - 鳥類
 - ・ヨシ帯に依存して生息する鳥類の繁殖地となる湿地の創出(カルガモ、バン、カイツブリ等)
 - 哺乳類
 - ・カヤネズミの営巣地となる環境の創出(湿地周辺のヨシ帯)
 - 植物
 - ・多様な環境の創出
 - 沈水～浮葉植物帯 : トチカガミ等
 - 抽水植物帯 : ヨシ、マコモ、ウキヤガラ等
 - 水辺林 : ヤナギ類、エノキ、ムクノキ等
 - 昆虫類
 - ・年間10種以上のトンボが観察できる多様な環境の創出(ギンヤンマ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボ、ハグロトンボ、クロイトトンボ、アオモンイトトンボ等)
 - ・ヒメボタルの生息域の拡大
 - ・将来目標としてヘイケボタルの生息
- 写真提供: 大阪府立大学大学院 生命環境研究科 小山基氏
 大阪府レッドデータブック : 絶滅危惧I類

イメージ平面図



- 植物への配慮
 - ・湿地形状は緩傾斜勾配とし、凹凸を設ける。
 - ・湿地の掘削土で埋土種子の有効利用が図れそうな土層は、湿地帯表層土として活用していく。

イメージ断面図